

県民協働型自然共生手づくり事業

「榎野川野鳥の森」整備事業

☆日 時：平成20年10月11日（土）

☆場 所：山口市平川 野鳥の森周辺

☆参加者：44人

☆主催者：YSCエコクラブ

1 スケジュール

9：30 開 会

9：45 講 義（野鳥について・岩井先生）

10：10 巣箱作り及び看板の設置

12：00 昼 食

巣箱の設置

14：00 終 了

2 活動内容

(1) 講 義

先生はまず森の方向へ耳を澄まし、聞こえてくる鳥の鳴き声から、モズ、ヒヨドリ、イカル、カラス、カワセミがいること。モズは肉食性の鳥で、秋から冬にかけて縄張りを持つ、そのため高鳴きすることを話された。



次に、これから巣箱を設置するが、シジュウガラ、ヤマガラが主に利用し、モズやヒヨドリは利用しない。巣箱は繁殖のためだけに使用され、人の家とは使われ方がまったく違うことを説明された。

最後にこの「野鳥の森」は民有地であったものを県が買い取り、現在の公園として保護されていることを説明された。



(2) 巣箱作り及び看板の設置

参加者はキリや金槌を使って、巣箱を組み立て、名前やメッセージを書き込んだ。家族で参加された方はお父さんも熱心に手伝っておられました。



出来上がった巣箱を立ち木に設置しましたが、木が微妙に傾いているため、南側で入り口がやや下向きに取り付けるには結構時間を要しました。

巣箱を作った参加者は設置場所を確認しているので、鳥たちが利用しているか後日観察をおこないます。



野鳥の森を大切に守っていくため、あらかじめ作っておいた看板を設置しました。



終了式も行いました。

